

令和4年度南区地域自立支援協議会活動報告

南区地域自立支援協議会事務局

I 令和4年度活動報告

南区地域自立支援協議会の目標（理念）

「南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活を送る事が出来るように、地域として支援していく」

1 各連絡会等の運営

・昨年度に引き続き、南区グループホーム連絡会、医療的ケア対応施設連絡会、放課後等デイサービス連絡会、は開催を見送っている。そのような状況ではあったが、高齢・障害連携会議については感染拡大状況を見ながら取り組みを進めている。

南区グループホーム連絡会 13:30～15:00 ※新型コロナウイルスの影響で開催見送りになっている。

医療的ケア対応施設連絡会 18:00～19:30 ※新型コロナウイルスの影響で開催見送りになっている。

放課後等デイサービス連絡会 10:30～12:00 ※新型コロナウイルスの影響で開催見送りになっている。

高齢・障害連携会議 全て 15:00～17:00 で実施。

参加機関：大岡地域ケアプラザ包括支援センター社福士、清水ヶ丘地域ケアプラザ包括社福士、別所地域ケアプラザ包括支援センター社会福祉士、南区生活支援センター、南区高齢・障害支援課、南区基幹相談支援センター

実施日	内容
令和4年5月27日(金)	新メンバーも加わったので、高齢・障害連携会議設置の経緯と、これまでの取り組みについて確認。本年度の取り組みについて意見交換をしている。※包括連でのミニ講座については令和4年10月27日(木)で実施となった。昨年度を踏まえ事例検討方式で行う事としている。
令和4年8月26日(金) ※リモート開催	10月の包括連で使用する事例について検討。2事例を選択し、参加者を2グループに分けて意見交換を行う事となった。その過程で障害福祉機関の関わり方について具体的に確認できるような構成としている。 また、令和5年1月から2月で別所CPにてケアマネ連絡会で障害福祉サービスや相談機関の紹介を行う事となった。
令和4年11月25日(金)	令和4年10月27日(木)に行われた南区包括支援センター連絡会で実施した「障害相談窓口ミニ講座」の振り返り、別所CPでのケアマネ連絡会でを行うミニ講座「障害福祉との連携」の内容(事例を通じて各機関の役割や障害福祉制度について理解を促す)を検討している。
令和5年2月24日(金)	別所CPケアマネ連絡会の振り返りと次年度の取り組みについて意見交換を行っている。本年度の取り組みを土台にして、包括連で困難事例の吸い上げを行い高齢・障害連携会議で検討していく事となった。

※「障害相談窓口ミニ講座」は令和4年10月27日(木)南区包括支援センター連絡会で実施しています。

※「ケアマネ向け障害福祉との連携」は令和5年1月23日(月)別所地域ケアプラザケアマネホームルームで実施しています。

2 担当

南区基幹相談支援センター相談員、南区生活支援センター職員、南区高齢・障害支援担当ソーシャルワーカー等

II - ① 令和4年度 精神障害者専門部会 活動報告

令和4年度精神障害者専門部会活動の目的「区内にある支援機関のネットワークづくりと日々の支援で直面する課題の共有を通じて各機関で必要に応じて連携し、地域で生活をしている方々への支援の充実を目指す」

事務局：南区生活支援センター、南区高齢・障害支援課、南区基幹相談支援センター

日時	内容	トピックス
令和4年6月27日 (月)15:00~17:00	1、あいさつ 2、講義「精神科医療の動向とこれからの地域支援」 3、グループワーク テーマ「病院とのやりとり(入退院含む)で困ったこと」	・部会長より「今年度の精神部会・包括ケア連絡会の取り組み」について説明。 ・昨年度未実施となった神奈川県立精神医療センター石田氏からの講義を左記のテーマで実施。 ・講義と関連した内容で意見交換を実施。
令和4年8月22日 (月)13:30~15:00	1、あいさつ 2、事例検討・グループワーク「人間らしい生活を取り戻したいAさん」 3、まとめ	・生活支援センターより事例提供を受けて左記の事例検討を実施。グループに分かれ①アセスメント②本人の望む生活についてという2段階で検討を実施。 ・まとめでは多機関連携で支えていく事の必要性について確認。
令和4年10月24日 (月)15:00~17:00	1、あいさつ 2、当事者発表 ・「私の社会復帰録」・「利用者体験発表」 3、グループワーク 4、まとめ	・就労移行支援の利用を経て就職した2名の当事者から疾患の体験や現在について発表を受け、発表者も参加しグループワークを実施。 ・まとめでは、この取組を地域に向けた形で実施していく事の必要性を確認。
令和4年12月19日 (月)15:00~17:00	1、あいさつ 2、事例検討・グループワーク 「障害受容が出来ずにクローズでの就労を目指す方への支援」 3、まとめ	・就労移行支援事業所から事例提供を受けて左記のテーマでグループワークを実施。 ・まとめでは、就労移行支援の利用者ではあるが本人が受け入れられる範囲の多機関連携で支援していく事の重要性を確認。
令和5年2月27日 (月)15:00~17:00	1、あいさつ 2、事例検討・グループワーク 「8050 ケースを考える」 3、まとめ	・区高齢・障害支援課から事例提供を受けて左記の事例検討を実施。①支援当初で考えられる支援②世帯構成員毎の支援、将来を見据えた支援という2段階で検討を実施。 まとめでは多機関連携とライフステージを意識した支援の必要性を確認。

本年度の振り返り

南区生活支援センター、南区高齢・障害支援課 MSW、医療関係者、南区基幹相談支援センターで構成する精神障害にも対応した地域包括ケアシステム連絡会が部会の企画・運営を行う形としている。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に関わる内容に特化した内容として医療機関を含めた多機関連携について確認している。また、昨年度に引き続き当事者発表を行うことができた。

II-② 令和4年度 相談部会活動報告

令和4年度活動方針「ケアマネジメントの視点と計画相談支援の充実」

事務局：南区基幹相談支援センター・南区高齢・障害支援課

参加機関：AIM コンサルテーションサポート、横浜市福祉サービス協会南介護事業所、たすけあいゆい相談支援センター、相談支援事業所のぞみ介護、はるかぜ、横浜 SSJ 相談支援室、メープル訪問介護、相談支援センターにじ、相談支援事業所りんどう、ぴいすサポート、居宅介護支援センター白朋苑、中部地域療育センター、地域生活支援センターこむつみ、頌栄、YOUKI☆横浜、ピースフルライフ、大石介護相談室、南区生活支援センター、地域活動ホームどんとこい・みなみ

	日時	議題	内容	トピックス
1	令和4年5月9日 13:30～15:00	・自己紹介と実施状況の共有 ・令和4年度の相談部会について ・事例検討:事例提供は横浜 SSJ 相談支援室	各事業所の状況などを共有。事務局からは令和4年度の部会の内容として、昨年度の意見交換を受けて企画した勉強会を3回予定していることを報告している。	勉強会は相談支援専門員としての困りごと、プラン作成と記録の掻き方、成年後見制度について参加型で学んでいく形を取ることとなっている。
2	令和4年7月11日 13:30～15:00	【勉強会】「相談支援専門員として活動する上で、困っている事や悩んでいる事」	・テーマに沿ったグループワークを行い、その後に講師から「相談支援専門員として日頃考えていること」というテーマで講義を受けている。 講師：(福)開く会 相談支援室 きくみみ 荒井氏	講師からは「本人を中心にした支援」というテーマを中心に、日ごろの支援の中から具体的な話しをしていただいている。
3	令和4年9月12日 13:30～15:00	【勉強会】 「PDD サポートセンターグリーンフォレスト相談室の毎日」	左の欄にあるテーマで、計画の立て方や記録方法について講義とワークを実施してもらっている。 講師：NPO 法人 PDD グリーンフォレスト相談支援課 五浦氏	ケアマネジメントプロセスに沿って計画の立て方や、記録の残し方、障害特性に合わせた記録方法の活用などについて講義をしてもらっている。
4	令和4年11月21日 13:30～15:00	【勉強会】「成年後見人の役割」 南区成年後見サポートネットと共催	講義の行政書士 井川氏から講義「成年後見制度について」を実施。等関連制度の説明後に士業の先生を交えたグループに分かれて事例検討を行っている。	区成年後見サポートネットとの共催は初であったが、普段は関りが少ない士業の方々と直接はなしが出来る機会となっていた。
5	令和5年1月16日 13:30～15:00	・情報共有 ・事例検討 事例提供はぴいすサポート小林氏	情報共有では直近の事業実施状況を共有。事例検討は健康管理、金銭管理などに課題がある方への支援について全体で事例検討を行っている。	事例検討では参加者から様々な意見が出ている。また、支援内容の一部について成年後見制度の必要性への言及もあった。

6	令和5年3月13日 13:30～15:00	・情報共有 ・事例検討 事例提供は YOUKI☆横浜 土 志田氏	次年度の相談支援研修の日程について確認。事例検討は自宅を出てしまっている方への支援について全体で検討している。最後に令和4年度に実施した研修についてのアンケートを行った。	事例検討では、本人を取り巻く状況が動いてから相談支援専門員として関与し始めることの難しさが浮き彫りとなっていたが、抽出された支援のアイデアもあり、参加者全体での学びとなっている。
---	--------------------------	--	---	---

令和4年度の振り返り

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあったが予定していた回数の実施となった。新たな取り組みとして勉強会を3回実施。その中でも区成年後見サポートネットとの共催は参加した相談支援専門員や協議会活動にとって大きな収穫となった。

Ⅲ 南区地域自立支援協議会に位置付けるその他活動 活動報告

1 スキルアップ研修

新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れ機関が11カ所、参加希望者38名という大幅な縮小を余儀なくされたが令和3年度の約2倍の規模で実施している。

2 障害理解に関わる普及・啓発事業(旧：公開講座)

「障害のある人もない人も“みんないっしょ”に生活している」をテーマに以下の取り組みを実施した。

・令和4年12月6日(火)、7日(水)9:00～16:00に南区役所1階多目的ホールに「区内事業所の作品展示」「泉の会 KoKua の取り組みの紹介」「みんないっしょ、みなみサマーフレンド、精神障害の理解、Funstar」の動画上映、サンタプロジェクトの協力で事業所製品の来場者プレゼントを実施。(来場者数推計500名)

・障害者週間に合わせて「みんないっしょ」をテーマとした啓発動画の市営バスデジタルサイネージでの放映、区内の主要な施設や区内の市営地下鉄、京浜急行の駅などへのポスターの掲示。

・令和4年12月6日(火)「障害のある人の将来の備え～親なきあとのお金と住まいと暮らし方～」というテーマで「親なきあと」相談室 主宰 渡部 伸 氏の講演会を実施し、約150名の来場者があった。

3 南区卒業生進路懇談会

令和4年7月19日(火)に本年度1回目の懇談会を実施。南区在住で令和5年3月卒業予定者について各学校の進路担当から状況報告を受けて、各支援機関と意見交換をする形を取っている。

令和5年1月17日(火)に二回目の進路懇談会を実施。日中活動事業所から令和5年4月の受け入れ状況について報告を行い、進路担当からは難航している生徒等について共有している。

また、事務局より進路対策研のエリア別懇談会が令和4年度に始まったことを受けて、南区の進路懇談会についても共催の区作連と協議をしながら開催頻度などの見直しを図りたいことを提案している。